

# 農業用水路事故のない 安全な地域づくりを目指して

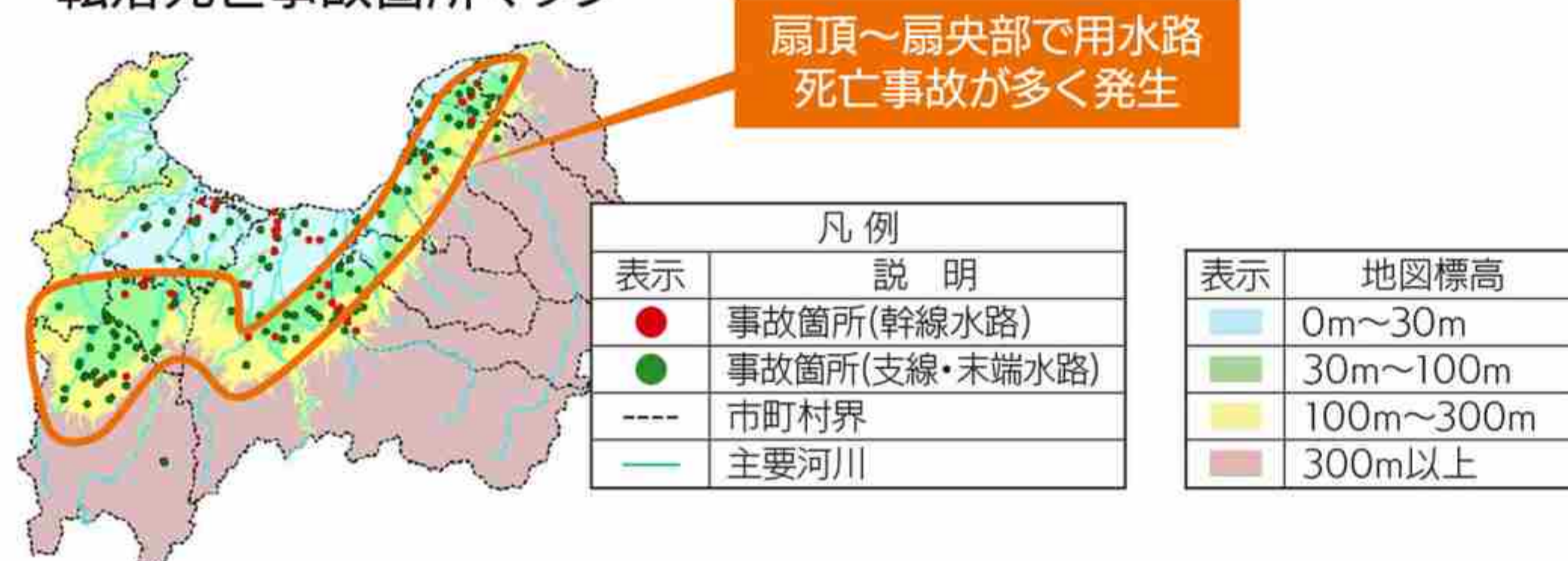


▲ガイドラインと概要版



富山県内では、毎年のように農業用水路における死亡事故が多く報告されています。このため、県では、昨年12月、効果的な事故防止対策の方向性を示す**富山県農業用水路安全対策ガイドライン**を取りまとめ、県民の皆様への普及啓発に努めています。

幹線・支線別  
転落死亡事故箇所マップ



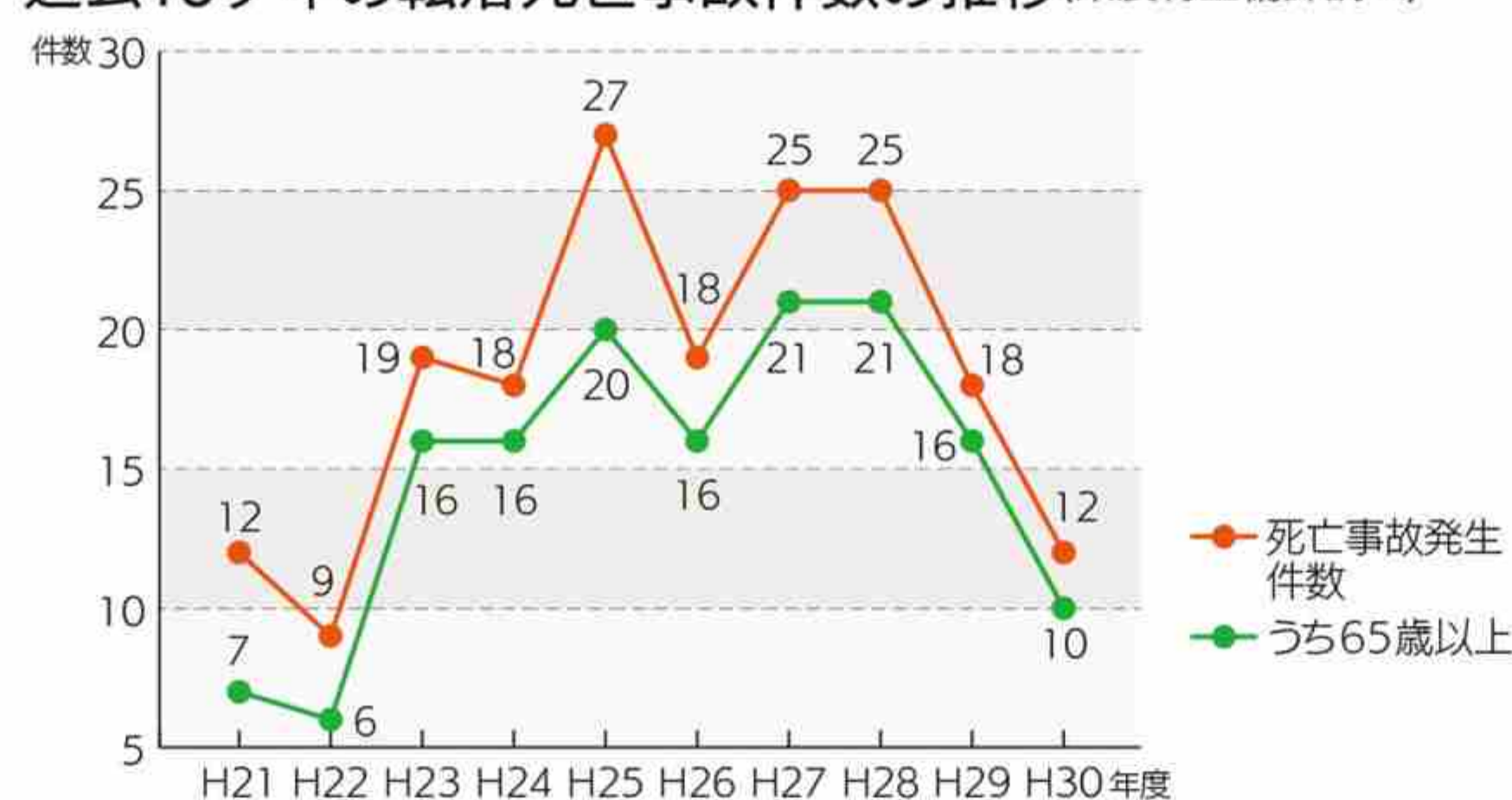
## 県内の農業用水路の特徴

用水路の特徴として、県内河川の扇状地が、他県に比べても急峻な地形であるため、用水路も急勾配で流れが速く、水量が多いことが挙げられます。また、散居等の田園地帯に農業用水路が張り巡らされており、水路が身近にある住環境になっています。

## 事故の発生場所や傾向など

扇状地の扇頂から扇中央にかけての用水路で、事故の発生リスクが高い傾向にあります。また、発生箇所としては、身近な田んぼの支線・末端水路が死亡事故の約7割を占めており、**事故に遭われる方の約8割が65歳以上の高齢者となっています。**

過去10ヶ年の転落死亡事故件数の推移(県農村整備課調べ)



## 事故に遭わないために 地域みなさまへ 5つのお願い

1. 慣れた道でも、水路沿いを通るときは、安全確認！
2. 昼と夜では危険度が違います。暗いところは特に注意！
3. 「自分は大丈夫」との意識を改め、余裕をもった行動に心がけましょう！
4. 家庭内のコミュニケーションや高齢者、子供たちへの声かけ！
5. 単独での水管理や農作業を極力避けるよう周囲からの声かけ！

県では、用水路事故を未然に防ぐため、次の3つの基本方針に沿って、行政、関係団体や地域組織等の連携のもと、農業用水路の安全対策に取り組んでいきます。



▲ポールコーンによる  
視認性の向上

▼転落防止柵の設置



▼転落防止網の設置



## 3つの 基本方針

1. ソフト対策の継続的かつ積極的な推進  
児童や高齢者等を意識した安全点検、安全啓発の幅広い展開
2. 効果的なハード・セミハード対策の実施  
事故リスク・優先度等に応じた転落防止柵や視認性の向上対策等の推進
3. 行政、関係団体や地域組織等の連携強化  
関係者間の連携による、ソフト・ハードの最適化(ベストミックス)

転落防止チラシ▶

